

感染症の登園基準

いばら保育園

保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行を出来るだけ防ぐことで、一人一人の子が快適に生活できるように、下記の感染症について届け出をお願いします。感染力のある期間を配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育生活が可能な状態になってからの登園であるようご配慮下さい。

◎医師による治癒証明が必要な病気

病名	潜伏期間	感染しやすい期間	主な症状	登園基準
インフルエンザ	1～2日	発症前日から発症後3日	発熱・悪寒・関節痛・咽頭痛・咳・下痢	発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日し、元気がよい時
百日咳	7～14日	観戦後後3週間	特有の咳の持続	特有の咳が焼失した時
麻疹（はしか）	10～20日	発疹出現の前日から4～5日間	高熱後3日頃から全身に小さな水泡	発疹に伴う熱が下がった後3日を経過してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	14～21日	明らかな症状を示す2日前からその後5日間	発熱後耳下腺・舌下腺・顎下腺の腫れ・痛み	耳下腺の腫れが焼失し、かつ、全身状態が良好になってから
風疹（三日はしか）	14～21日	発疹出現後の前後5日間	発疹・発熱・琳派の腫れ	発疹は焼失した時
水痘（みずぼうそう）	14～21日	水泡出現前～かさぶたになってしまいうまで	微熱・水泡	すべての水泡がかさぶたになってから
咽頭結膜熱（プール熱）	5～6日	潜伏期間後半から発症後5日	高熱・のどの痛み・咳・目やに・目の充血	主な症状の消失後2日を経過してから
流行性角結膜炎（はやり目）	1週間前後	発病後数日間	目の充血・まぶたの腫れ・耳前リンパ節の腫れ・目やに	結膜炎の症状が消失後、医師が周囲への感染がなくなったと判断した時
腸管出血性大腸菌感染症（O-157など）	3～8日	便に排菌がある時	腹痛・水様便・血便・発熱・嘔吐	抗菌薬による治療が終わり、48時間あけて2回連続で検便を行い、抗菌性が確認できたら
結核	発病時期はさまざま	喀痰に排菌がある期間	発熱・咳・痰	医師が感染の恐れがないと認めた時

◎主治医と相談し、登園届が必要な病気

病名	潜伏期間	感染しやすい期間	主な症状	登園基準
手足口病	3～6日	発症後5日	発熱・口の中に水泡・手足や体に水泡	解熱後1日以上経過し、元気がよく、いつもの食事が食べられるようになってから
伝染性紅斑（りんご病）	7～14日	発疹出現前1週間	顔面赤斑（特に頬部に赤斑性発疹）	発疹が出る頃には感染力はなくなっているが、全身状態がよいこと
ヘルパンギーナ	2～4日	発症後数日	高熱・のどの痛み・咽頭に水泡	解熱後1日を経過し、元気がよく、いつもの食事が食べられるようになってから
マイコプラズマ肺炎	2～3週間	抗菌剤投与より数日間	咳・発熱・頭痛・痰	発熱や激しい咳がとまり、元気が出たから
ウイルス性胃腸炎（嘔吐下痢症・ロタ・ノロ）	1～3日	ウイルスは嘔吐物に大量に含まれ、便には2～4週間含まれている	嘔吐・下痢・発熱 口タ・便が白くなることも	嘔吐・下痢がおさまり、いつもの食事が食べられるようになってから
突発性発疹	10日	発疹出現数日前から発疹のある間	発熱後3日ぐらいで全身に発疹	解熱後元気が良ければ
RSウイルス感染症	2～8日	呼吸器症状のある間	発熱・鼻水・咳・喘鳴（ゼーゼー息をする）	呼吸器症状が治まり、全身状態がよくなってから
帯状疱疹（ヘルペス）	水痘感染後体内の神経節にウイルスが潜み、体力が落ちた時に活動し始める	水泡のある間	痛い発疹・水膨れ	すべての水泡がかさぶたになってから
溶連菌感染症	2～4日	潜伏期間後半から発症後7日	高熱・のどの痛み・イチゴ舌・全身にかゆみを伴う発疹	抗菌薬内服後1～2日たってから

◎その他、気を付けて頂きたい病気

病名	潜伏期間	感染しやすい時期	主な症状	登園基準
水いぼ	2～7週間	いぼより滲出液が出ている間	皮膚と皮膚がすれ合う所にいぼ	かき壊し傷から滲出液が出ている時はガーゼなどを当てること
とびひ	2～10日	湿潤な病巣がある間	湿疹や虫さされのあとをかき壊し、水泡が出来る	皮膚が乾燥しているか、汁が出ている部分をガーゼで覆うこと
アタマジラミ	10～14日	しらみが付着している間	頭のかゆみ	駆除を開始していること
ヘルペス口内炎	3～7日		高熱・のどの腫れ・口の中に水泡 歯肉の腫れ	熱がなく、よだれがとまり、いつもの食事が食べられるようになってから